

輝く未来を子どもたちへ

石岡市議会議員

桜井しげる

活動報告

令和5年(2023年)

2月20日発行 第31号



■発行/桜井しげる後援会 ■住所/315-0013 茨城県石岡市府中3-11-28
■電話/自宅 0299-22-3881 ■FAX/0299-22-3881 ■携帯 080-3150-8451
■WEB <http://www.sakurai.click/> ■E-Mail sakurai@sakurai.click
■Facebook <https://www.facebook.com/shige.sakurai.3> 討議資料



昨年3月に「带状疱疹ワクチン接種の助成について」(活動報告第28号掲載)として一般質問を行いました。この度、市議会に示された令和5年度予算案に、带状疱疹予防接種助成金が予算化され盛り込まれました。令和5年度予算案が可決され、多くの方が予防接種を受け、健康維持につながる事を願います。東京都が18歳以下に月5千円給付という発表は衝撃的でした。次いで、岸田総理が年頭の記者会見で「異次元の少子化対策」への挑戦を表明。加速する日本の少子化を、本気で変える具体的な政策については、6月に「骨太方針」の中で示される見込みです。日本の輝く未来を子どもたちへ継承するために!!

一. 石岡市二十歳の集い

(1) 卒業生による実行委員会が企画・運営

令和5年石岡市二十歳の集い(成人式展)が、穏やかな晴天に恵まれた1月8日、石岡市運動公園体育館アリーナで開催されました。

私は、文教厚生委員長として出席させていただきました。20歳を迎えた新成人の皆さんが、整然と式に臨む姿を拝見し、頼もしく感じたところです。

式典は、市内中学校から各4名が実行委員となり、式典の企画と運営を担い、開催したものです。対象者数700名の内、出席者567名を数えました。

(2) 新型コロナウイルス感染防止対策

会場に入場するに際して、事前に抗原検査キットによるコロナ感染の有無を身分証明書と一緒に写真に撮り、提示が義務付けされました。また、マスク等の着用や大きな声での会話を控える等の周知がなされ、席は1.5m間隔、会場内は新成人のみの入場制限となりました。

(3) 頼もしい新成人

第一部は、国府中・城南中・園部中・八郷中・私立等市外中学校卒業生。第二部は、石岡中・府中中・私立等市外中学校卒業生が出席し、穏やかに式が進みました。

特に印象的だったのは、式典に出席された元学校長である井坂教育長職務代理者及び平澤社会教育委員長が、教え子の成長を大いに喜んでおられた事。新成人がスーツや晴れ着をおしゃれに着こなす姿、そして新成人の主張を発表された二人が共に「ブラボー」を叫び、発言を終えた事でした。



二. 議会報告会

(1) 報告会の概要

議会報告会は、1月30日(八郷総合支所)、31日(市役所本庁舎)、いずれも夜7時から開催しました。

今回のテーマは、「複合文化施設建設特別委員会の活動状況報告」の一つに絞って報告しました。

複合文化施設は、市民会館及び図書館を核として石岡駅東側に約122億円の巨費を投じて建設する計画です。市長は関係予算案を第3回定例会に提出しましたが、議会が否決したことを受けて、ゼロベースでの見直しを宣言。これら一連の経過を特別委員会の正副委員長が報告しました。



(2) 八郷総合支所での報告会

報告を終え、質疑では、「執行部の計画は雑であり、民間では費用対効果の説明責任がある」「議会はよくやっている」等の意見が出ました。

意見交換会では、八郷地区の産廃及び残土の不法投棄の予防と解消への取組みを求める意見が参加者から多数出ました。

(3) 市役所本庁舎での報告会

報告後の質疑では、質疑よりも意見を述べられる方が多いという印象でした。また、複合文化施設案は市長提案ですが、議会が提案し、自ら否決したと受け止められた方も複数おり、首長(市長)と議会の二元代表制の周知も大切と感じました。意見交換会での市民提案は、執行権のある市執行部に伝えて検討していただく事になります。

私は司会進行役を務めました。参加された皆様の理解促進と発言の整理の難しさを痛感しました。

三、第4回定例会で行った一般質問

(1) スマートフォン決済について

デジタル社会の進展に加え、新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてキャッシュレス決済導入が急速に進んでいます。利便性向上に向けた決済メニューの拡充について伺います。

(1) スマートフォンアプリで納付・支払いのできる公共料金等を伺う

財務部長答弁要旨 市が収納

する各種税のほか後期高齢者医療保険料、介護保険料、水道料、八郷地区の下水道使用料、関川・恋瀬・東成井地区の農業集落排水施設使用料、市民課と市民課窓口で発行する各種証明書となっている。

(2) 領収書の取り扱いについて伺う

財務部長答弁要旨

スマートフォン決済の方への領収書発行は行っていない。国の手順書に従ったもの。しかし、事業者から市にデータが届き次第、納税証明書を発行できる仕組みになっている。

再質問 軽自動車税納付確認システムを伺う

財務部長答弁要旨

軽自動車は車検の際に税の領収書提出が求められているが、令和5年1月からは軽自動車検査協会のオンラインシステムで納付状況が確認可能となり、普通自動車同様に領収書提出の必要がなくなる。

(3) 決済メニューの拡充について伺う

財務部長答弁要旨

利用者の利便性や収納率向上に寄与するツールと認識している。議員提言の料金、使用料についても拡充する方向で検討する。

市長答弁要旨

24時間支払いができる事はコロナの状況からも効果がある。スマートフォン決済の拡充を図り納付しやすい環境を増やしたい。



(2) 高齢者等のゴミ出し支援について

「ゴミ出し」が大きな負担となる高齢者等がいます。

環境省の統計調査によると令和3年で、ゴミ出し支援を行なっている自治体は全国で38.8%です。安心して生活するための事業として認知されてきていることから質問いたします。

(1) ゴミ出し支援の現状について伺う

① 国・県の取組みについて伺う

生活環境部長答弁要旨 国は、高齢者のゴミ出し支援制度導入の手引きを令和3年に公開している。茨城県内44市町村中、20市町村で制度導入がなされ、一定の要介護支援、または肢体不自由等の障がい者手帳を持っている事が条件となっている。

(2) 石岡市の取組状況について伺う

保健福祉部長答弁要旨

地域住民で支え合う体制づくりを検討しているが、ゴミ出し支援は難しい状況である。先進地は、環境衛生施策事業として取り組んでいるところが多い状況である。

(2) ゴミ出し支援事業の制度充実について伺う

生活環境部長答弁要旨

環境省の手引きを参考に、当市に適した制度を研究していきたい。再質問 市内でも自主的にゴミ出し支援をされている地域があり、実態を調査していただきたい。

令和元年11月、何らかのゴミ出し支援を市の事業として行うと、経費の50%を特別交付税措置すると総務大臣が発表しており、補助事業としての取組みが可能となっている。市長の見解を伺います。

市長答弁要旨

ゴミ出し支援を国は重視している。速やかに実施できないか指示してまいりたい。

提言 市として住民にもメリットが有り、早急

な導入に向けてご検討をお願いしたい。



四、第4回定例会で行った議案質疑

(1) 一般会計補正予算(第11号)

① 歳入・雑入の「地域伝統芸能等保存事業助成金2百万円の減額内容について伺う

教育部長答弁要旨 対象事業(柿岡の祇園祭)の文化財記録作成が実施できないための減額。令和5年度に再度申請を行い事業ができる状況になる。

② 上曽トンネル整備事業に関し、委託料として13億8千万円の補正予算が追加されるが全体事業費、石岡市の負担額を伺う

都市建設部長答弁要旨 桜川市分も含め全体で約143億3千万円。うち石岡市は約85億円を負担し、うち半分が社会資本整備総合交付金(補助金)となる。残り半分の95%は合併特例債(借入金)となり、返済する元利償還金の70%が交付税措置される。石岡市の負担は約6億円と見込んでいる。

再質問 本来は県事業であるので、石岡市の負担6億円に対する県の補助が有るのか伺う

都市建設部長答弁要旨 県から70%の補助がある。

※この質疑で私は、石岡市の負担約6億円に対して、県から70%分の補助4億2千万円が入り、最終的な石岡市の負担は30%分の1億8千万円と理解しました。しかし事実は、6億円は県の補助を受けた後の金額でした。しかも再計算すると理論上の石岡市の純粋な負担は6億円ではなく、約4億2千万円になる事が分かり、質疑のやり取りの難しさを再認識しました。

③ 職員人件費を9月補正で減額し、人事院勧告により12月補正で増額しているが、事務量を伺う

総務部長答弁要旨 一人の業務として計算すると概ね85時間、およそ11日間相当になる。

再質問 9月補正で小さな減額は見送り、事務負担軽減を図ってもいいのではないか。

総務部長答弁要旨 事務の軽減は大きな課題であり、十分検討させていただきたい。

五．廃校施設の有効利用

(1) 旧有明中学校

旧有明中は、平成25年に旧柿岡中と旧八郷南中が統合し廃校しました。校舎は取り壊しましたが、体育館は市民への貸し出しを行っています。

地域住民と移住者の出会いの場、集いの場として、当面の間、存続する事になっています。

(2) 旧城南中学校

旧城南中学校は、平成30年に石岡中と統合し廃校しました。グラウンド・体育館・武道館等は市民への貸し出しを行っています。校舎については、文化財の保管施設、舟塚山古墳見学者の利用等を想定した施設整備の検討を開始する予定です。

(3) 条例化の前に故障・修繕を完了すべき

学校施設は条例規定により、体育館等の利用者は使用料を支払います。一方で、教育委員会は施設の安全と利用環境の整備・管理責任が生じます。廃校に伴い、学校施設から外れたまま条例化することなく、これまで施設の修繕等を求める利用者の声に十分な対応をしてきませんでした。

特に旧城南中は故障箇所等の修理・整備計画も無く、次期定例会で条例化を目指したいとの説明が文教厚生委員会で報告されたため、早急に利用者の声を聴き修繕に向けて動くよう要望しました。

廃校後の利用状況

旧有明中学校	
グラウンド	・サッカー ・イベント等(年2回)
体育館	・バレー ・サッカー ・バトミントン ・イベント等(年2回)
旧城南中学校	
グラウンド	・サッカー ・イベント等(年2回)
体育館	・保育園体育教室 ・バレーボール ・バスケットボール ・ソフトバレー ・新体操 ・バトミントン ・イベント(運動会)等
武道館	・剣道

六．駅周辺整備事業

石岡駅周辺では、複数の案件が駅周辺整備事業として進んでいます。都市構造再編集支援事業交付金対象事業として、**総事業費は約11億5千5百万円。うち約5億6千8百万円の補助金を見込んでいます。**(令和5年2月現在の財源内訳)

(1) 西口交流施設

交流施設は、石岡駅西口前のトヨペット跡地に、駅利用者の利便性向上と中心市街地のにぎわい創出を目的として、鉄骨造りの2階建て、1階部分はキッチンと利用者の休憩施設。2階は、休憩や学習、施設に入る店舗で調理された軽食等を楽しんでいただく休憩スペース。付帯施設として自転車利用者など着替えや汗を流すコインシャワースペースを備えた施設となり、整備費は約1億1千6百万円を見込み、供用開始は4末月を予定しておりますが、休憩スペース運営の事業者への応募が無く、現在再公募に向けて調整中です。



(2) 西口交流施設駐車場・駐輪場

石岡駅に接続するステーションパーク脇の駐車場・駐輪場を改修し、1階はエレベーターと階段のホール、2階は物品倉庫エリア、空きスペースをイベント時などに楽屋として使用する予定です。3階は災害用備品を備える防災倉庫。駐車場は一般車16台、身体障がい者用1台の計17台。自転車96台、バイクを14台駐車できます。

整備費は約2億9千9百万円を見込み、工事開始は令和5年4月、工期は10か月の予定です。



(3) (仮称)東口都市公園(スケボーパーク)

石岡駅舎南側(線路の東側)のバスターミナル進入路と山王川(市営駐車場西側)に挟まれた土地約5千5百㎡に東口都市公園を整備するもの。

公園は2つのエリアからなり、駅舎に近い北側はスケートボードが楽しめるスケボーパーク、踏切に近いエリアは芝生の多目的ゾーンとして、災害時には防災テントとして利用可能な**あずまやとベンチ**が設置されます。整備費は約4億2千9百万円を見込み、工事は5月以降、供用開始は令和6年になりそうです。



(4) 西口交差点整備

石岡郵便局側から石岡駅西口交差点に入る道路を拡幅し、右折ラインを新たに設置するもの。整備費は約3千6百万円。年度内竣工予定でしたが、繰越となる見込みです。



(5) タロー像の移設

駅前交差点の形状との関係から、タロー像の移転について議会でも指摘がされてきました。

この度、タロー像をステーションパーク2階に移転する方針が示され、令和5年度予算で実施することが担当課から報告されました。

(6) その他の工事

BRT専用駅前広場の待合所新設工事は、令和3年度に終え、東口バスターミナル整備工事も令和4年7月に終えました。他に国分町ポケットパークを令和6年度以降に整備予定としています。

七. 地域医療対策事業

(1) 頓挫した公立病院化

石岡医師会病院と石岡第一病院を統合再編し、公立病院を設置。産婦人科・小児科そして緊急診療の充実を目指した地域医療対策事業は、公立病院の運営を担う予定であった地域医療振興協会が、市議会の反対意見が強いと感じたのか、提案していた病院の基本構想案を取り下げたことで、事実上の頓挫となったのは、令和3年2月でした。

(2) 産科設置に向けた新たな取組み

2月1日の文教厚生委員会において、「産科医療施設の開設支援に係る取組みについて」が報告されました。石岡市内に新規の産科医院開設あるいは市内医療機関が産科分娩の再開もしくは産科の新設を行う場合は、開設支援として1億円を支援。さらに運営支援として年に2千5百万円を10年間支援する事業案が説明されました。

ほかに市有建物の賃貸借や医師の派遣を目的に医科大学等へ市が寄付講座を開設する案も示されています。支援の条件等の具体的な内容については、予算特別委員会（3月7日・文教厚生委員会所管）の質疑で明らかになります。

(3) 茨城県内の先進事例

私は平成30年第1回定例会で、産科医招へい支援の取組みを質問し、開設支援を提言。当時の全国における先進事例の支援額は最大2億円でした。県内では最近、水戸市（6千万円）、つくば市（5千万円）が制度化しており、常総市（5千万円）は2月6日に制度活用で産科院が開院しました。石岡市も予算案が可決され、問合せが早期に来ることを期待します。



八. 市議会議員研修会

(1) 議員研修の充実強化

石岡市議会基本条例（議会にとつての憲法）に議員研修の充実強化が規定されており、毎年市議会議員全員を対象にした研修会を開催しています。

(2) 住民自治の根幹は議会

今年は大正大学公共政策学科の江藤俊昭教授を講師に招いて研修会を行いました。研修テーマは「地方議会改革の到達点と課題」と題して「住民自治の根幹は議会」にあることを説明いただきました。

主な説明は次の通りです。
・市の方向性を定めた総合計画に基づいた質問設定が大事である。
・討論が大事である（石岡市は1回だが取手市は3回実施している）
・議会は不要不急ではないので、非常事態の際に行政の邪魔にならない対応をすべき。
・議案審査が大事である。
・ハラスメント（議員間、議員が職員に対して）への意識向上と対策
・オンラインによる議会開催を認めるケースも出ている。（コロナ・出産・介護等）
・議員間討議を活発に行う必要がある。



(3) 改選後の議会の取組み

4月23日に石岡市議会議員選挙が予定されています。改選後の市議会では、江藤先生が提唱する市議会の課題への取組みが求められてくるものと思います。特にハラスメントへの意識向上と対策、そして議員間討議の充実が重要な課題だと認識しています。

九. 今後の議会日程

(1) 令和5年第1回定例会

令和5年第1回定例会は、2月14日告示、開会日は2月21日。会議は全て午前10時開始です。日程表の黄色の会議は、石岡市議会ホームページから本会議を生中継で視聴できます。是非、臨場感あふれるやり取りにご注目ください。

録画放映は、会議後10日前後で視聴可能になる見込みです。こちらは繰り返し視聴できます。

月 日	曜日	会 議 内 容
2月21日	火	開 会
22日～26日		休 会
2月27日	月	会派代表質問
2月28日	火	一般質問
3月 1日	水	一般質問
3月 2日	木	一般質問
3月 3日	金	議案質疑
4日・5日		休 会
3月 6日	月	予算特別委員会（総務企画）
3月 7日	火	同上（文教厚生）
3月 8日	水	同上（産業建設・複合文化）
3月 9日	木	同上（総括審査）
3月10日	金	文教厚生委員会
11日・12日		休 会
3月13日	月	総務企画委員会
3月14日	火	産業建設委員会
3月15日	水	複合文化施設建設特別委員
3月16日	木	議会運営委員会
3月17日	金	採決・閉会

桜井しげるプロフィール

S34年6月生、3人家族＋猫3匹

【学歴】府中小、府中中、石岡一高、東海大学文学部史学科日本史課程卒

【職歴】S57年：日本信販(株)（現三菱UFJニコス）

S58年：石岡市役所入庁

H27年：市役所退職(議会事務局長)

学校法人 府中幼稚園理事長

石岡市議会議員（1期）

R01年：石岡市議会議員（2期）

（文教厚生委員長）

茨城県国保運営協議会会長会長

【活動】国分町々務委員長

石岡ロータリークラブ会長

元 府中小、府中中 PTA 副会長

元 土浦日大高校石岡支部長

元 県立中央高等学校 PTA 会長